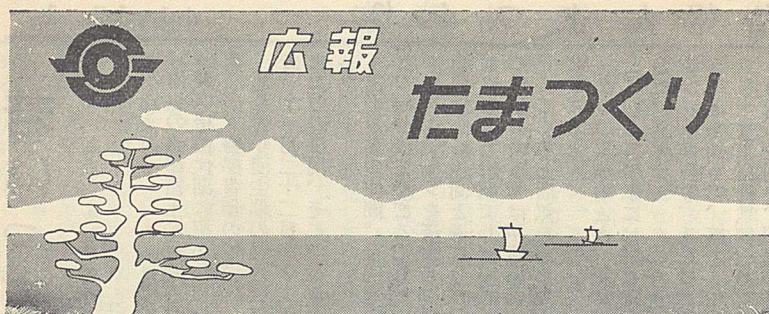




広報

たまつくり

第86号

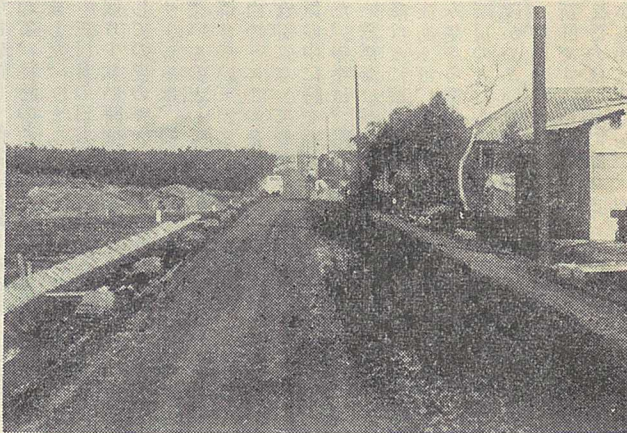
昭和41年12月1日 毎月1回1日発行

昭和38年1月23日第三種郵便物認可

規則正しい生活

もうすぐ冬休みです。夜ふかしや朝ねぼろの悪いくせがつく時です。いままでのよい習慣をくすさないように、規則正しい生活を続けさせましょう。

また、戸外での運動が不足がちになり、間食することが多いのでからだをこわさぬよう、注意しましょう。



農免道路着工

県道玉造・札線（通称武田県道）と開拓道路の交差する緑が丘地内を起点として、開拓道路・泉部落を経て県道石岡・潮来線の諸井地内を終点とする町道は、道幅を6.5メートルにひろげ、路面が舗装されることになります。

この工事は、県営の農林漁業揮発油税目替農道整備事業（通称農免道路）として、3年間で全路線の完成が予定されるもので、本年度分は、起点から泉部落東端までの1,075メートルが、株木建設会社の請負いで施工されます。

工事請負契約の締結 予算二万五千元の減額

11月の議会

第五回臨時町議会を、十一月二十五日役場会議室でひらき、次の三件を可決しました。

○羽生小学校建設工事請負契約について

三千九百万円で、山形工務店と随意契約により、契約を締結することを議決したものです。

○一般会計予算の補正

農免道路事業を、年度当初、町営で予算化しましたが、県営で施行するもので、その組み替え

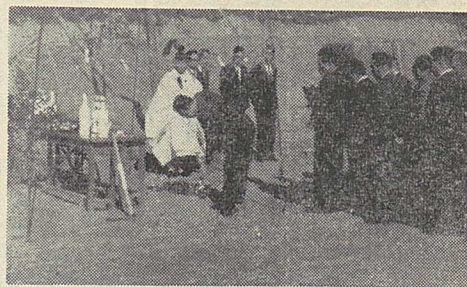
をしたこと、羽生小学校の工事費が予定を下廻ったこと、中学校敷地の災害復旧費を計上したことなどですが、差引き千五百九十二万六千円の減額となり、本年度の予算総額は、二億六千四百三十一万九千円となりました。

○専決処分の報告について

農免道路事業の地元負担金を、玉造町が負担することの専決処分をしたことを承認しました。

羽生小学校 建設事業の起工

建設事業の起工



羽生小学校建設の起工式を、十一月二十一日、町当局、地元有志工事関係者が出席して現地で行ないました。

建物は、鉄筋コンクリート二階建て、一、二一七平方メートルで、六教室と、音楽・家庭・理科・図書・管理室などがあり、日立市山形工務店の請負により、工費三千九百万円で来年三月末に完成の予定です。

この工事の特質は、百里航空基地の騒音防止対策事業として、防衛庁の認可を得たもので、教室の二重窓、空気調節装置など防音対策が完備され、事業費の九割まで国からの補助があること、などです。

町政日誌

十二月

十二月の歴史

- 7日 玉造中学校屋体竣工検査
- 12月14日 産業文化祭
- 16日 羽生小学校建設工事入札
- 21日 羽生小学校起工式
- 22日 例月検査
- 25日 臨時町議会
- 26日 行方郡町村会定例会
- 1日 昭和九年（一九三四年）丹那トンネル開通。長さ七、八〇七メートル
- 4日 昭和二〇年（一九四五）日本大学で男女共学制が発足
- 6日 元禄一三年（一七〇〇）徳川光圀没。七三歳
- 7日 文政一〇年（一八二七）西郷隆盛薩摩に生まれる。
- 8日 昭和一六年（一九四一）大平洋戦争おこり、日本の海軍航空隊は、ハワイ真珠湾の米艦隊を攻撃しました。
- 10日 昭和二四年（一九四九）湯川博士、日本人として初めてノーベル賞を受賞しました。
- 14日 明治四三年（一九一〇）日本人が初めて日本で飛行。
- 19日 宝暦元年（一七五一）大岡越前守没。七五歳
- 23日 昭和八年（一九三三）皇太子誕生
- 24日 宝永五年（一七〇八）数学家関孝和没。六七歳
- 31日 昭和一〇年（一九三五）物理学者、随筆家寺田寅彦没。五九歳

若いってすばらしい

玉 造 渡 辺 一 江

白銀の会津富士に見守られ、青い青い猪苗代湖に招かれて、よいな国立磐梯青年の家。

連合青年団主催の県外研修が、去る十一月二十二日から二十五日までの四日間、そこで行なわれ

た。三十余名の仲間。目的地に着いたのは午後三時ごろでした。オリエンテーションを済ませ、自由時間を愉快に仲間と過ごしました。なにもかも時間ではばれた規則にはじめのうちは戸惑いましたが慣れてくると活気を感ずるようになり

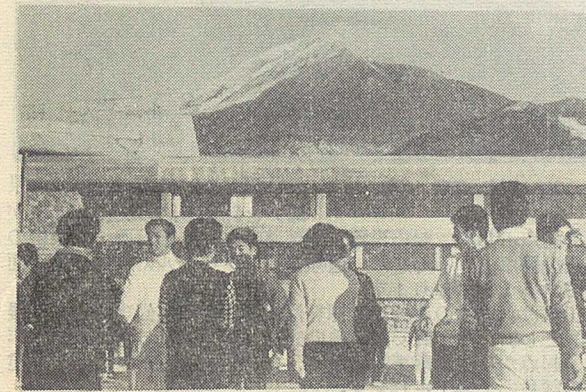
ました。夕べの集いのとき、団体紹介など、初めての私には、ただ新鮮でした。ダイナミックな若さがあり、ファイトがあり、そこに仲間がいることを知って、感激してしま

ました。その夜は、同行の町長さんのお話を聞き、明日の若人のあり方などを考えさせられました。

青年の家研修記

二日目の朝の集いも印象的でした。冷たい空気に刺激されながらの交歓、そしてゲームと楽しいひとときでした。午前中に分科会と歌唱の時間が設けられ、討論、そして多めに歌いました。午後からのフ

(磐梯山を背に朝の集い)



成果を生かそう

玉 川 鈴 木 啓 宇

美しい雪の磐梯山を背に、青く澄んだ猪苗代湖を前にした、国立青年の家で、四日間の研修を行なってきた。

前半二日間は、談話、講話と分科会によって、青年団と友情のこ

とを話しあいました。内容は、それぞれの悩みや友情交際について

最後は、名所旧蹟を見学しました。

参加人員は三十七名と、前年より少なくはなりましたが、内容の点で言うと充実しており、参加できなかった団員も、来年はぜひ参加され、研修の意義、楽しさを味わっていただきたいと考えています。

から「小さなおとな」への脱皮をはかろうと思えます。若さを活かすということー若いって、なんとすばらしいことでしょう。

被害地へおくりもの

老人クラブ連合会

町老人クラブ連合会(会長 久米久良さん)では、宮古島、山梨などの台風被害地へ救援物資を贈りました。

これは、下宿老人クラブの畠木さんが提案して、町をあげて救援物資を集めたものです。各会員の熱心な努力で「二八包(六、四〇〇点)も集まり、善意銀行を通じて被害地の方々に送りました。

投票日は一月八日

町長選挙
町議補欠選挙

任期満了による町長選挙は、昭和四十二年一月八日(日)に行われることになりました。なお町議会議員一名が欠員となっているため、その補欠選挙も一緒に行ないますがともに私達に最も身近で、たいせつな選挙といえます。

主な日程は、次のとおりです。立候補届出期間 一月一日から一月四日まで(毎日、午前八時三十分から午後五時まで)

町長候補者の立会演説会 一月五日(青年研修所) 投票及び開票 投票は、町内十五カ所で午前七時から午後六時まで。開票は、青年研修所で午後七時三十分から。なお、詳しいことは、選挙管理委員会(役場内)でお聞き下さい

交通事故をなくして 明るい町づくりを

塚 本 三 郎 兵 衛

寒さ身にしみる気候となりました。こしも豊作と聞いて喜んで

います。一年間の苦勞も収穫の忙しさと、俵の山をみればまた一しおと存じます。

工業高校の設立、中学校の建設に引き続き体育館の新築と、文化のバロメーターは向上し、また道路は完全に舗装改良され、町の発展が目に見えるようです。

麻生署の統計によりますと、同地方の交通事故は三六・五パーセントの増加をみ、死傷者は一パーセントの増加を告げています

生きているお子さんに元気で成長するよう心がけてください。また、十二月に入りますと、なんとなく心がせわしいものです。師走という言葉で代表されるように周囲のあわただしさは、心のおちつきを失なわせがちです。こういうときに交通事故が増加するの

飲酒運転によるものです。道交法では、単に酒気おび運転だけを禁止しています。「酒気おび運転とは、呼気一リットル中に〇・二五ミリグラム以上のアルコールを身体に保有する状態をいいます」しかし、酒気おびに至らない程度に飲酒の量をおさえることよりも、むしろ、お酒を飲んだ場合は、絶対に運転しないようにすることが安全運転の秘訣でもあります。飲酒運転が法で禁じられていることや、いかに危険であるかは、運転者はもちろん、だれひとりと知らないものはないはず

ではありませんか。飲酒運転を無くして交通事故を防止するためには、私たちの飲酒についての社会慣習を徹底的に改める必要があります。目標は、「酒と車の運転のつながりを断ち切ること」にあります。この目標達成のため、車を運転する人はもちろん、家庭も職場も、酒を売る店も、すべての人々が努力するならば、飲酒運転追放の願いは必ず達成できると考えられます。

一、霞が浦の 水青く 真昼の白帆 風涼しく くだけ光る 波の秀に 明るき生命 養いて 睦みは清し 玉造 二、嵐に耐えて 幾春秋 雄々しく生きる 一つ松 松吹く風の ひびき 丘草の 三年をはげむ 玉造 友愛かたし 玉造 三、夕映え染める 空遠く 燃え立つ筑波 日はゆらぐ 希望の光 きらめけは 血汐はたぎる 若き頃に 理想は高し 玉造

県芸術祭

美術展覧会入選者

今までの県展が改称されて、第一回茨城県芸術祭となり、十一月十八日から二十七日まで、水戸市の県民文化センターで開催されました。

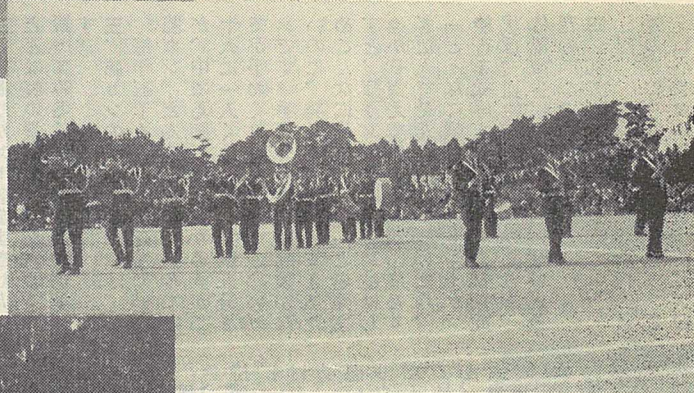
美術展覧会に出品し、入選した本町の関係者は、次のとおりです

書道の部 曾根 広(玉峰) 額賀三左尾(素洲) 川島 吉蔵(草人) 写真の部 高野 整儀



町民運動会

13日、中学校校庭で、多彩な催しがありましたが、花形は各小学校の鼓笛隊演奏でした。



自衛隊音楽隊のパレード

13日、玉造町駅前を出発して町内を行進、正午近く中学校に到着、折柄開催中の町民運動会の場内でドリル演奏を行ないました。



農機具展示会

玉造小学校の校庭を会場に開かれ、トラクター、耕うん機などの農機具や、生活近代化の電気機具、家具の展示でにぎわいました。

中学校普通教室の2 農産物展示会

室に、丹精こめた348点の農産物が展示されました。いづれもみごとなできばえで、審査にあたられた県の係員からも「県の農業祭に出品しても優秀な成績をあげるだろう」との評を受けました。審査の結果は、次のとおりです。

◎米穀の部

特等 笹目 孟（谷島）

1等 貝塚こと（浜）

2等 成島孟（泉）栗山利治（高須）千ヶ崎正男（八木蔭）

◎雑穀の部

特等 鬼沢由尾（藤井）

1等 杉山悦子（拾木）

2等 藤崎ナヲ（拾木）藤崎政恵（拾木）田山英二（藤井）

谷田川寅次郎（泉）田中行雄（西蓮寺）

◎果実の部

特等 山口清一（羽生）

1等 堀昇（谷島）仲島均（泉）

2等 鈴木満（藤井）鈴木うめ（藤井）内藤雅雄（八木蔭）

栗又治雄（内宿）高栖舜雄（宿）山崎福治（羽生）山口

照夫（羽生）栗原弥寿夫（拾木）笹目沢治（中山）山崎

秀男（羽生）笹目みよ（羽生）

◎野菜の部

特等 堀田昌宏（小座山）

1等 川尻なを（新宿）宮河晃（小座山）川尻静雄（小座山）

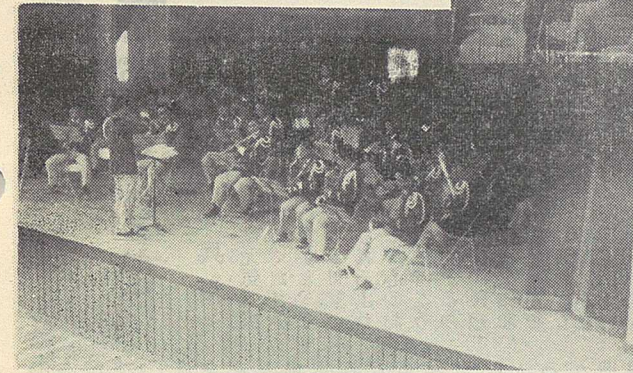
2等 堀田政子（小座山）青木正己（新宿）斎藤弘子（小座山）

森内忍（新宿）平間三郎（若海）樽見米子（若海）

須貝亨（谷島）田神幸エ門（泉）鎌田定郎（泉）

中学校完成を祝い みのりの秋を喜ぶ

昭和41年度産業文化祭は、絶好の秋晴れに恵まれ、11月12日から14日までの3日間玉造中学校を主会場として盛大に開催されました。



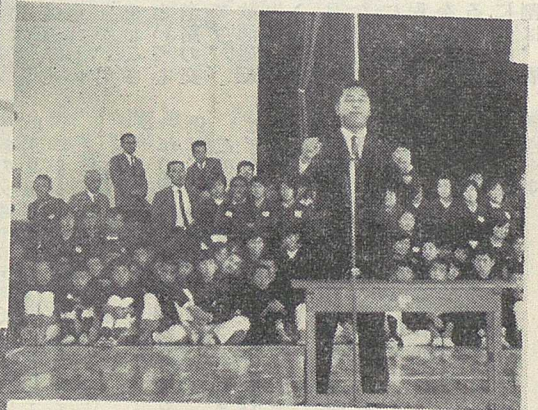
県警音楽隊の演奏

12日、玉造駅前を出発して町内をパレード、記念式の終わった体育館の壇上で模範演奏を行ないました。

玉造中学校建設完成記念式

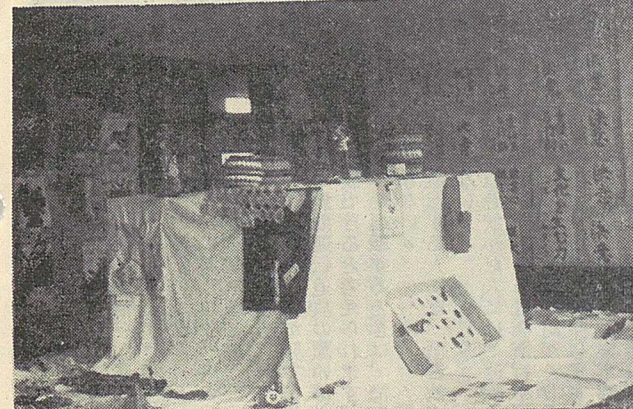
中学校完成記念式

12日、完成されたばかりの体育館で、町、学校当局、来賓、中学校3年生など出席して行なわれました。



古橋さんの講演

音楽隊の演奏後、かつてのオリンピック選手で「フジヤマのトビウオ」とうたわれた古橋広之進さんが「根性を持って」と、30分にわたる有意義な講演をされました。



学芸展示会

中学校普通教室2階を会場にして小学校全児童（1,825名）と中学校全生徒（1,025名）から出品された書き方、図画、工作、手芸などの作品が展示されました。また、近接の高校生徒から出品された参考作品も展示されました。

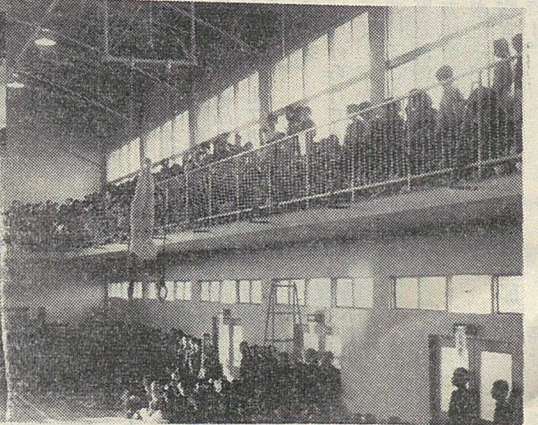
→ 岩瀬正美（里）齊藤秀雄（諸井）

◎水産加工の部

特等 松金宏治（西蓮寺）

1等 小津壮而（上宿）

2等 小津壮而（上宿）



体操の模範演技

日本大学の早田選手ら5名による、鉄棒、つり輪、あん馬、平均台などのみごとな演技に、会場一ぱいの観衆は感嘆の拍子を送りました。

ハイ! ゆうびん

年賀はがきは

12月22日ごろまでに

年賀はがきを元旦に配達するためには、十二月十五日から二十日ごろまでに差し出し

ましょう。なお、沖縄あての年賀はがきは、十二月二十二日ごろまでに差し出して

「年賀」と表示

年賀はがきを差し出すときは、必ず「年賀

珠算検定試験を実施
第十四回珠算検定試験を、十一月二十日玉造小学校で実施しました。合格者は、次のとおりです。

商工会欄

カレンダーの配布
昭和四十二年のカレンダーが、近く全世帯に配布されます。

昭和四十二年のカレンダーが、近く全世帯に配布されます。このカレンダーは、ことしから発行されるもので、各商店で発行して来たものを全廃し、一本化したものです。各商店ではカレンダーを配布しませんから、町民の皆様が誤解されぬようお願い申し上げます。

- 一級 額賀 洋子(根本塾)
二級 大木つや子(長谷川塾)
吉田洋子、仲居きぬ子(小貫小)
中島康明、店曲美佐子、本沢はる江、宇津木守(根本塾)
三級 嶋 信子、阿部幸枝、関野愛子、大島フミ、阿部輝雄、関野真由美、高野八重子、高野富美子、飯島伸子、小倉八重子、根崎登美江(長谷川塾)、石田真智子、菅谷けい、池田節子、荒井八千代羽成敬一、関口庄司(小沢塾)根本純夫、原ひろ子、仲居寛明、宮崎礼子、吉田敬子、高野明子(小貫小)滝崎紀夫、森作豊、宮本秀雄、河野定子、河野文子、宮内芳江、柳町さだ子、橋本とも子、熱田京子、栗股美智子、石井純子、小峰幸子、水野和江、大場麗子、原田康子、佐藤恵子(根本塾)
四級 関野 愛子 外四十六名

住居表示制度

実施地域のあて名は

全国的に新しい住居表示制度が実施されていますが、この地域の方へのあて名は「〇〇何丁目〇番〇号」と新住居名ではっきり書いてください。

これを省略されると、読み誤って配達が遅れるようなことにもなりますので注意しましょう。

書状などの年賀状は

年賀状のうち年賀特別取扱いが受けられるのはがきだけです。封書や変形の郵便物は、この年賀特別取扱いになりません。

発行所 玉造町役場 発行人 坂本常蔵

広報委員会(定価一部10円)印刷所さんゆう社印刷所

新有権者の

感想文を募集

来年一月十五日、成人式を迎える方は、公民として、新しく選挙権をもつことになりました。町の選挙管理委員会では、これら新有権者の感想文を、つきによって募集します。

- 〇題名 自由
- 〇字数 四千字以内
- 〇内容 ①新有権としての感想 ②政治、生活についての感想 ③その他、自由に記述するもの

〇締めきり 昭和42年1月10日
〇提出先 玉造町役場内
玉造町選挙管理委員会



た。特に、この講習は、麻生町、北浦村、小川町、玉造町各商工会の共催によるものでした。

出産と死亡

おめでとう

赤ちゃんの名

根崎 透 父 誠 続柄 長男

松金ます子 良岳 長女

梅原 健寿 敷 二男

根本 克彦 正 長男

岡村 満 磯次 三男

窪田美智子 四郎 長女

萩原 正義 浩 長男

杉山 正明 亮 長男

茂木 清子 清隆 長女

田神 雄一 五朗 長男

高橋 忠行 好之 長男

宇ツ木道明 正 長男

富田ふみ江 仁之 長女

平間 和雄 武男 長男

平間 徹 明 二男

山中佐知子 日出夫 長女

石井 俊行 義夫 長男

氏名 年令 部落

田中 西松 六九 西連寺

大久保トミ 六三 藤井

関野 十郎 七九 根古屋

佐々木千代 六二 諸井

飯島 なを 六四 泉

井野場武男 四一 羽生

あとかき

数多くの思い出を残して、昭和四十一年も去ろうとしています。来る年も、みなさんに、そして町に、幸せの多いことを願っています。